

喜界町



議事だより

177号

令和元年11月30日発行



写真・みんなで金メダル・はいポーズ (あゆみ幼稚園運動会)



主
な
内
容

決算審査特別委員会委員長報告	2
一般会計補正予算	4
一般質問に3名が登壇	6
議決条例・陳情書の報告	12
諸般の報告	13
読者の声・編集後記	14



発行／喜界町議会 編集／議会広報委員会

〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地

TEL:0997(65)1115・FAX兼用

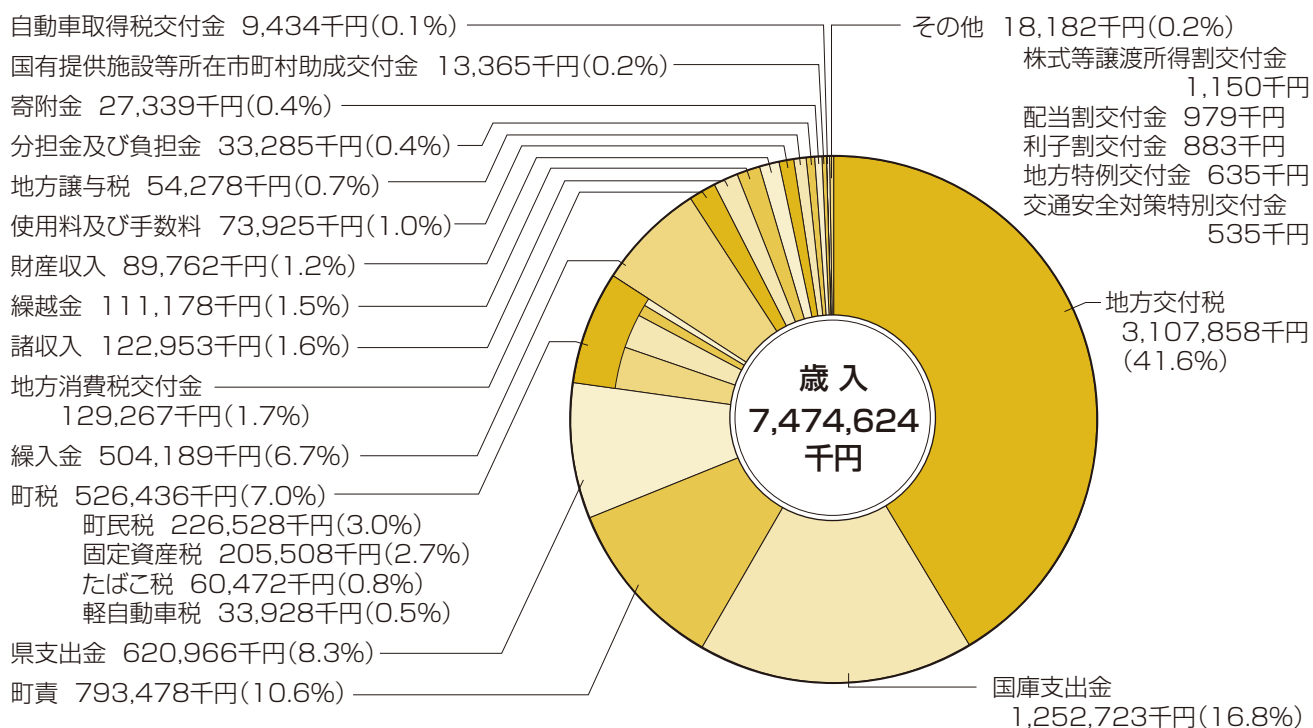
効率的な財政運営に最大の努力

平成30年度決算審査認定

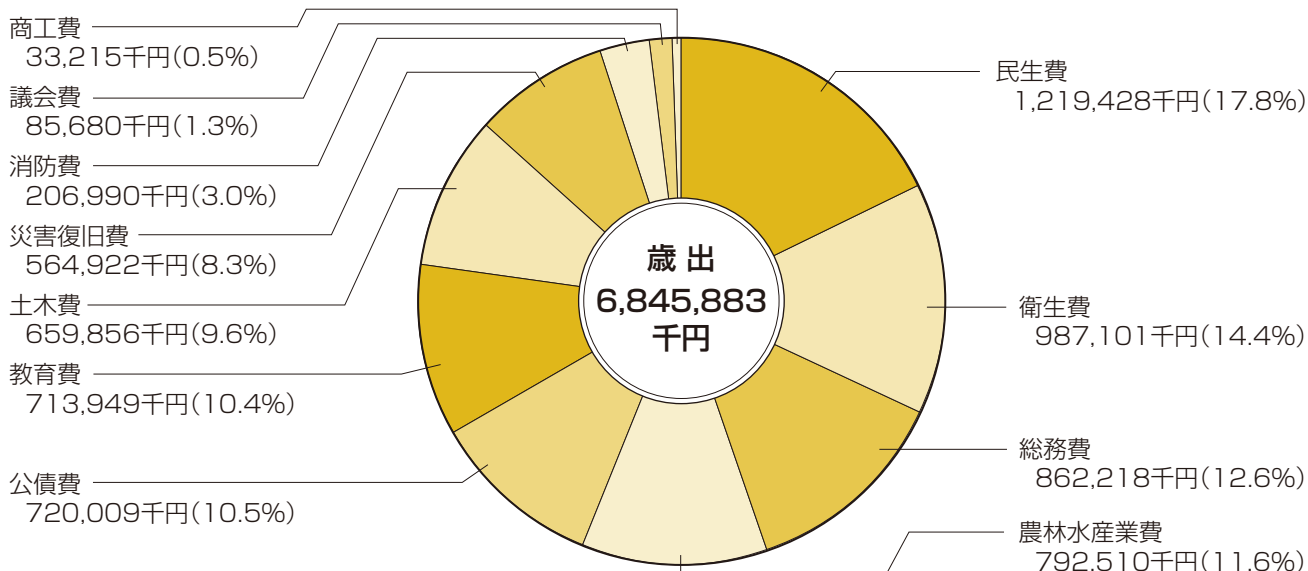
令和元年第3回定例会は、9月5日から18日まで14日間の会期で開催しました。初日は、一般質問（議員3名登壇）、報告3件があり、諮問1件を採択。令和元年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、条例等16件の議案24件、陳情4件については各常任委員会に付託しました。

平成30年度喜界町一般会計及び特別会計の決算認定については、決算審査特別委員会に付託されました。最終本会議には、令和元年度喜界町一般会計補正予算・特別会計補正予算、条例16件の議案24件、追加提案された工事請負契約・物品売買契約の2件、発議2件を原案のとおり可決し、決算審査特別委員会に付託された平成30年度一般会計及び特別会計の決算認定については、9月9日・10日の2日間審査し、結果全会一致で認定すべきものと決定しました。

◆ 歳入項目別決算額



◆ 歳出項目別決算額





決算審査特別委員会委員長
上間 一寛 議員

決算審査特別委員会委員長報告

本委員会は、審査方針として決算認定制度の意義を十分理解した上で、本会議に提出されました歳入歳出決算書、主要施策の成果に関する調書及び監査委員の決算審査意見書を参考に、9月9日、10日の2日間、執行部の出席を求め、審査の着眼点として、予算が議決した趣旨と目的に従って適正に、そして効率的に執行されたかどうか、それによってどのように行政効果が発揮できたか、それから見て今後の行財政運営においてどのような改善、工夫がなされるべきかを主眼に置き、審査を行いました。

一般会計決算審査について

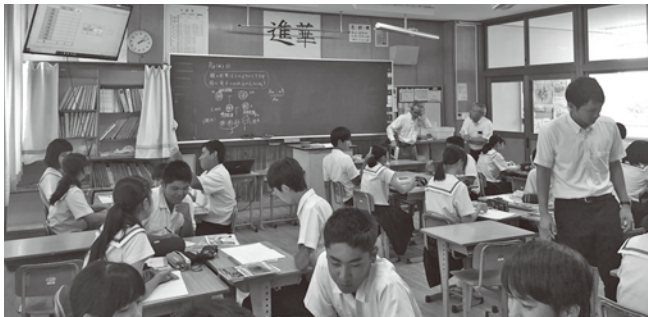
計画性、弾力性、積極性の3つの観点で分析し、総合的に判断すると、行政内容が実質的に町民の福祉の向上のために適切な行政水準を保つことが財政運営の基本であると思ひますし、今後とも有利な財源の確保、それは国や県の補助の適用であり、また交付税の見返りのある過疎債、辺地債を活用し、計画的に、しかも、効率的な財政運営に最大の努力をしていただくことを望むところであります。

特別会計決算審査について

一般会計からの繰り入れ及び地方債発行などにより歳入不足を補って目的が達成されるものであり、その運営が財政運営上、大きく影響を及ぼすと懸念されます。一般会計、特別会計全体の財務状況を的確に把握し、精査し、適切な財政運営に努力して下さるよう望むものであります。

財政事情の厳しい中、収支の均衡ある財政運営ができていて、限られた財源の中で各種事業が推進されており、成果をおさめているものと認め、討論なく、審査の結果、いずれも的確と認め、全会一致で認定するものと決定いたしました。

《主な事業紹介》



教育振興費寄附金
ICT機材を活用した授業（喜界中）



マテリアルリサイクル事業
段ボールを燃やさず再利用（クリーンセンター）



農業用施設災害復旧事業
（塩道水口地区）



ジオパーク推進事業
18万年前の地層が見られる（塩道水口地区）



木のあふれる街づくり事業
子ども達の遊び場へ遊具の設置（塩道公園）



木のあふれる街づくり事業
児童増加により増築（早町児童クラブ）



港湾整備事業
老朽化により待合所の建て替え（早町港）



農業用施設災害普及事業
災害に備え水路を拡張（伊美久阿丸地区）

10月より保育料無償化へ

令和元年一般会計補正予算
2億7,279万円追加(総額72億4,297万円)

◆ 補正予算の主なもの

予算額(千円) △は減額

担当課	事業名	内容説明	予算額
総務課	地方交付税普通交付金		118,063
	交通安全対策費	ロードミラー修繕	1,860
	一般管理費 ハザードマップ作成委託料	避難経路等防災対策	2,585
企画観光課	条件不利性改善事業 農水産物輸送コスト支援事業	新たに「焼酎」が対象品目となる	30,759
	ふるさと寄附金	ふるさと寄附金(納税)が増加する見込み	13,000
農業振興課	森林環境譲与税	環境保全に取り組むための譲与税	777
	鳥獣防止対策事業原材料費	カラス捕獲檻設置 (荒木、志戸桶、粗大ごみ置場)	1,100
	自然休養村管理センター 運営費修繕料	舞台照明の修繕	1,500
保健福祉課	民生費負担金保育徴収金	10月から保育料無償化に伴う減額補正	△ 3,800
	放課後児童クラブ運営事業 備品購入費	エアコン購入	1,110

常任委員会委員長報告

総務文教常任委員会

総務文教常任委員長 榮 哲治



去る9月5日、本会議において当総務文教常任委員会に付託された議案第34号、令和元年度喜界町一般会計補正予算(第2号)の当委員会分について審査が終了しましたので、報告いたします。

委員会は9月6日、委員全員出席のもと、委員会日程を1日間と定め、審査に当たっては担当課長及び担当職員の出席を求め、慎重に審査をいたしました。

補正予算は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2億7,279万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ72億4,297万6,000円とするものであります。

それでは、各所管分について申し上げます。

〈総務課所管分について〉

- ◇庁舎管理費の修繕料390万5,000円は、庁舎内の防火シャッターと車庫倉庫のシャッターの修繕です。
- ◇財産管理の修繕料384万1,000円は、伊実久池治公民館坂嶺生活館の軒天の修繕のためです。
- ◇交通安全対策費の原材料費186万円は、ロードミラーの設置や道路の白線整備を実施するものです。
- ◇情報無線施設管理費の修繕料43万2,000円は、赤連、佐手久、志戸桶南部地区の屋外支局の修繕料です。
- ◇喜界町ふるさと寄附基金の積立金は、614万7,000円の増です。

〈企画観光課所管分について〉

- ◇農林水産費県補助金農林水産物輸送コスト支援事業交付金1,031万円は、加工品であります焼酎にも対象品目となったための増額です。
- ◇ふるさと寄附金1,300万円の増額です。8月末で前年度費149%であります。
- ◇地域おこし協力隊費報酬199万2,000円の減は1名の減額分です。来年度、再び移住関係の方を検討しているところです。

- ◇商工費の観光費修繕料 150 万円はトイレ蛇口の修繕料です。
- ◇観光宣伝事業費の普通旅費 28 万円の増は、観光宣伝事業で、東京へ2名分です。これは、東京の事業所と地元の事業所をマッチングさせることで新たに事業を生み出すことを目的としています。

《教育委員会総務課所管分について》

- ◇国庫支出金の教育課程研修指定校事業委託金 26 万 9,000 円は、早町小学校が教育課程研究指定校として伝統文化教育を研究課題として行うものです。今年度と来年度の2か年行われる予定です。
- ◇学校建設費の修繕料 163 万円は、早町教員住宅の浄化槽の修繕2基分と喜界小学校の体育館の雨漏り修繕のためです。

《教育委員会生涯学習課所管分について》

- ◇学校管理費の修繕料 30 万 2,000 円は、旧二中ナイターの修繕です。
- ◇文化財保護費の修繕料 95 万円の増は、旧荒木小学校のトイレ分です。

以上で審査を終了し、当委員会は討論なく、議案第 34 号、令和元年度喜界町一般会計補正予算（第2号）は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

産業福祉常任委員会

産業福祉常任委員長 安田 英次郎



令和元年第3回定例会において当委員会に付託されました議案第 34 号から議案第 57 号までは、本会議におきまして町長より説明を受けましたが、さらに詳細な審議を必要とするため、全委員出席のもと委員会を開催し、審査期間を9月6日の1日間と定め、担当課長の出席を求め、慎重に審査を行ったところであります。御報告申し上げます。

議案第 34 号、令和元年度一般会計補正予算（第2号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 2億 7,279 万 9,000 円を追加し、歳入歳出それぞれを 72 億 4,297 万 6,000 円とするものです。

各所管分の歳入歳出について、主なものについて申し上げます。

《農業振興課所管分について》

- ◇歳入の森林環境譲与税 77 万 7,000 円は、温暖化と災害の対策が急務であることからの譲与税です。令和 6年度から住民税の均等割りに 1,000 円を上乗せされて、国において県と市町村に譲与されることになっております。その先駆けといたしまして、今年度より配分が始まっています。
- ◇震災対策農業水利施設整備事業補助金 500 万円は、ため池のハザードマップの作成のためです。
- ◇農地費の旅費 26 万円は、堆肥センターの建設に係る県の環境アドバイザーを招聘するためのものです。
- ◇林業振興費、木のあふれる街づくり事業工事で 300 万円は、コミュニティホール修繕料で、資材の高騰と人件費の高騰により、増額補正を行うものです。
- ◇鳥獣防止対策事業費旅費6万円は、罝を仕掛ける資格試験を取得する際、大島に行かなければならないのですが、人材スキルアップ事業での助成額が3分の2しか対象にならないため、全額補助とするため、不足分を支出するためです。

《保健福祉課所管部について》

- ◇民生費国庫補助金、子ども・子育て支援交付金 40 万 1,000 円は、喜界放課後児童クラブの増築部分にエアコンを設置するためです。国3分の1、県3分の1、町3分の1の補助事業です。
- ◇母子保健事業費、健診関係報償費 12 万円は、徳洲会病院の医師からの要望で、3カ月、7カ月の乳児健診を毎月行うためです。

《住民課所管分について》

- ◇環境衛生総務費修繕料 30 万円は花良治生活館のトイレサッシの修繕費です。
- ◇塵芥処理費修繕料 200 万円は焼却炉冷却用加圧ポンプ修理と電気室の屋根の修理費です。
- ◇廃棄物収集及び運搬業務委託料 90 万 2,000 円は、去年の台風で旧二中に一時仮置きしました段ボールを処理するため運搬する業務委託分です。

以上で審査を終了し、ほかに質疑討論なく採決に入りました。異議なしと認め、議案第 34 号令和元年度喜界町一般会計補正予算（第2号）の当委員会所管分は全会一致をもって原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

一般質問

町政のことが聞きたい

第3回定例会で3名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する
良岡 理一郎 議員

会計年度任用職員制度について

質 要

新制度はこれまで任用等に係る制度が不明確だった一般職の非常勤職員について、新たに「会計年度任用職員」を設ける。新制度の趣旨は、非正規雇用職員の処遇を見直して、その職にふさわしく改善することにある。

質 問

6月議会での議論を踏まえて、127名の臨時職員の任用、再任用、条件付き採用期間、給与そして職員の皆さんへの説明予定につ

いて伺う。

答 弁

行政管理室管理官

①会計年度任用職員は正規職員と同じ労働時間を働き、給料や期末手当を含むすべての手当で退職手当が支給されるフルタイム型と、労働時間が短く報酬と通勤費等の費用弁償、期末手当が支給されるパートタイム型に類型化される。しかし、臨時職員127名についてはフルタイム型の職はなくパートタイム型への移行予定である。

②任用について初年度は一般事務補助の職は試験と選考、今後の応募状況にもよるが、その他の労務提供の職の試験は必要ないと考えている。

1回の任期は会計年度の3月31日まで。採用の都度1月（ひとつつき）の条件付き採用期間がある。任用回数に制限はないものの毎回

条件付き採用期間がある

③新制度に伴い初年度の財政支出額は1億8,700万円。国が財政措置を検討するものと思う。

④新制度の説明はすでに課長会、担当者、区長会等で終わっており、今後、議会での条例議決後、臨時職員に説明する予定である。

鳥獣被害対策について

質 問

今年度の駆除実績を伺う。3月議会で駆除テンポを速めるために町民の協力でくくりワナ猟の有資格者を増やすこと。その際の費用は町が負担することを求めたが進捗を伺う。カラスの駆除対策についても伺う。

答 弁

農業振興課長

3月以降、この間の駆除実績は成獣のオス13頭、雌4頭で計17頭。

有資格者は新たに3名増え、資格取得費用は全額町が負担。

3月の専門機関による推定生息数は115頭、今後は2割程度を目標に駆除を進めれば減少傾向に向かうものと考ええる。

カラスの駆除は平成28年259羽、同29年449羽、同30年364羽実績である。カラスの攻撃性、視認性を考慮し、今後は捕獲オリを3箱増やして対策を強化していく。

教職員の長時間労働の改善について

質 要

先生方の長時間労働は社会問題になっており、メディアの見出しでも「年間5,000人の教員が心の病で休職、その裏に改革できない働き方」

「夜の10時働く教師だらけ、実習

生にここが学校だよ」などと報じられている。

本町の小学校、中学校でも長時間残業が常態化している。国も45時間の上限ガイドラインを設け、80時間を超えると過労死のリスクを抱える。

質問

本年度の新学期（4月、5月）についてみると、ガイドラインを超えた教員が若干減少している。80時間を超える教員はゼロであった。

残業時間が異常に多い教頭先生は過労死ラインの80時間こそ超えてないものの70時間後半の月が多い。全体として昨年よりは改善出来ているが、この間の取り組みを伺う

答弁 教育長

改善要因はICカードによるタイムカード管理、給食業務の行政への移管、管理職の声掛けなどが考えられる。

令和3年を目途に上限ガイドライン45時間以内を目指し、教員の

8割が業務の改善を実感できるようにしていきたい。

また、教員定数等については国や県の動向を注視していく。

不登校対策について

質問

学校種別不登校者数とサポートの実態について伺う。保護者にはフリースクールを望む声もある。

答弁 教育長

不登校は全国的に増加傾向にあり、本町でも30日以上長期欠席者を含む不登校生は小学校3名、中学校9名である。スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーでサポートを行っている。

居場所としてのフリースクールについては群島内で奄美市に公的機関の「適応指導教室」があるものの他の町村にはない。本町では各学校や行政による個別対応をしていきたい。



質問する
榮 哲治 議員

農業振興について

質問

本町の基幹産業は農業である。基幹作物のサトウキビを中心に、畜産並びに園芸との複合経営をして農業立島を打ち出しているが、徳之島3町、沖永良部2町には、農業生産高において大きく差をつけられている。基幹作物のサトウキビは上回っているが、畜産の価格、牝牛の生産や園芸作物においては、大きな開きがある。

質問

農業生産高を向上させるためには、畜産や園芸作物生産を強力に推し進める必要がある。そのためには、土づくりによる地力増進、地下ダムの水が必要不可欠である。平成15年度に度重なる干ばつ被害対策として、国の予算約

250億円、県の予算約150億円、合計約400億円の巨費を投じて、日本で2番目となる地下ダムを完成させた。スプリングラーによる散水で長年の干ばつ被害が解消された。そこで新たに、平成21年度から令和5年までの予定で、手久津久、荒木、中里地区の畑地帯総合整備事業をするに当たり、地下ダムの水の恩恵を農家に平等に与えるために第2地下ダム建設が必要となった。そのことから第2地下ダムの建設について、平成28年度から平成30年度までに建設に当たったの調査が終了していると思うが、調査結果はどうであったのか。調査の結果建設着工、完成はいつ頃か伺う。

答弁 農業振興課長

内容については、地質調査やその結果に基づく地下ダム建設にかかわる技術的な妥当性の確認、また営農計画の検討、環境配慮計画の検討などを行った。あわせて、既存の建設施設についての経年劣化による用水路の漏水や機械設備のさびの付着等による機能低下が

生じており、機能診断結果に基づき、施設の補修及び設備の更新を行うための整備計画の策定もしている。これらを踏まえ、今年度から令和2年度にかけて全体実施設計に入り、地区調査結果をもとに、施設の基本設計、事業費、並びに費用対効果の精査を行うこととしている。次期国営事業の事業着工時期については、令和3年度を予定している。工事期間は令和16年度までの14年間としている。

堆肥センター建設について

質問

農業で一番大事なものは土づくりで、地力を増進することである。本町では、化学肥料の過多により土壌が疲弊していると言われている。平成5年に志戸桶地区に堆肥センターが建設されているが、平成7年に開発組合へ委託、平成17年以降は喜界島飼肥料生産組合へ委託されているが、民間委託の理由について伺う。

答弁 農業振興課長

平成7年度から農業開発に委託し、その後町が管理した。原因は、堆肥原料の購入費、並びに維持管理のコストがかさんだためだ。平成18年度に利用者選定委員会を設置し、公募により喜界島飼肥料生産組合と管理運営委託契約を取り交わし、現在に至っている。

質問

今回新たに堆肥センターを町有地の自衛隊旧アンテナ跡地に建設するとあるが、今後の計画について伺う

答弁 農業振興課長

当初、平成32年度の事業採択を目指して取り組んでいたが、豪雨災害、台風による大災害が相次いで発生し、復旧事業も長期に及んだことなどから建設計画に影響が出ている。9月中には建設検討委員会を立ち上げ、県の専門アドバイザーを委員として招聘し、処理形態や処理方式、さらには需要予測並びにコストの計算を行い、前堆肥センターの教訓を生かしなが

ら早急に取り組んでいく。

選果場の問題について

質問

園芸作物の栽培面積の目標数値を達成すると、今のJAの選果場では限界があると考ええる。JAも町も必要な施設であると認識していると思うが、JAとどのような協議をなされているか伺う

答弁 農業振興課長

現状の選果場は、以前から手狭で出荷作業に支障を来たしている。JAと協議を重ねており仮に新築となると、それなりの面積を確保する必要がある。また、既存の施設をどうするか。その他JAの関連施設が今の場所にはあり、機能性を考えると、場所やコストの問題もあり、さらに議論を深めて進めていく必要がある。早急な対応策が必要だと考えるが、まずは既存の施設を活用し、いかに機能性を高め、有効活用できるか検討を重ねたい。

ブロッコリーの育苗の値上げについて

質問

令和2年度までに町が進める園芸作物の栽培面積を2年前倒しで達成したブロッコリーの育苗の価格を5円から7円に値上げした理由を伺う。

答弁 農業振興課長

ブロッコリーは、高収益作物として植えつけ面積の拡大や生産農家の育成を初め、重要品目として、町としても推奨を行ってきた。農家さんの熱心な取り組みにより、営農転換の計画目標を大幅に上回っていることや育成の成果も出てきたという判断のもと、若干の負担をお願いしている。

質問

複合型農業を推進し儲かる農業を拡充すべきだと考えるが、見解を伺う。

答弁 農業振興課長

第2地下ダムの新たな建設も予

定しており、儲かる農業を推進していかねばならない。サトウキビを中心とした園芸作物、畜産を含めて、複合型農業は非常に大事になってくると考える。現在、営農指導員、農協の営農指導員、県の普及員、関係機関の協力をいただきながら、巡回指導、並びに栽培の講習会等を進めている。



質問する
生駒 弘 議員

学校教育のさらなる国際化に向けた取り組みへ

質要

我が国の国際化が日々進展する中、これからの時代を担う子供たちが、外国の人々に対して恐れや偏見などを持たずに、同じ人間として分かち合い、時には議論や励ましを送り合う、そのような関係を結び合えれば、すばらしいこと

だと思う。しかし、我が国は、島国であり、一般的に言って、日常的に外国人と接する機会はまだま

多いとは言えない。
小学校においては、新学習指導要領の全面実施が2020年4月に控えており、2019年度まで3、4年生の外国語活動、5、6年生の教科として外国語が先行実施されている。そのような中、本町のような外海離島では、ネイティブスピーカーの発音を子供たちに聞かせることは大変有効であり、喜界町の子供たちが積極的に外国生まれの人と触れ合う体験は、国際人を生み出す意味においても貴重な教育になるのではないかと。なお、彼らを任用した市町村などの地方自治体は、その人数に応じた国から普通交付税1人当たり約500万円が加算される。また、近年は日本文化への高まりによって応募する外国青年も多く、選抜によって来日するため、自治体の必要人数は100%満たされる。全国においては、群馬県高崎市のように、市内の小中学1校に1人の割合で任用している市もあ

る。

質問

喜界町の小中学校においても、2020年度からの新学習指導要領の全面実施を見据え、また各学校での生き生きとした国際教育の展開をする意味からも、1校に1人を目標にこのJETプログラムによるALTのさらなる任用を検討し、英語教育の充実を図るべきであると考える。
教育長の見解を伺う。

答弁 教育長

国においてさまざまな教育改革が進められている。その一つに、一層進展する国際化に向けた取り組みが実施されている。その象徴的なものが外国語教育の拡充である。

本町においても、グローバル人材の育成のため中高生の海外派遣研修費の全額補助、英語検定の受検料全額補助などの支援を進めている。ALTを活用したネイティブの音声に触れることや生の異文化交流を経験できることは、生き

た英語教育の充実、グローバル人材の育成の観点から重要であると認識している。本町でもJETプログラム事業を活用して、ALT（外国語指導助手）を雇用し、英語力向上や異文化交流に取り組んでいる。本町のALTは、学校数が少ないことから、一人一人の子供たちと触れ合う機会が多く、小学校には少なくとも毎週1回、中学校では週2回以上、幼稚園にも要請に応じて計画的に派遣しており、1校当たりの派遣頻度も区内の市町村に比べて多い状況であり、おおむね学校の需要に据えていると捉えている。新学習指導要領では小学校から正式な教科として英語教育が導入されるが、これまでの中学校における英語教育との関連をどう図るのか、小学6年生と中学1年生のつなぎやすみ分けをどうするのか、どのようにうまくつなげていくのかなどの新たな課題も生じている。課題を少しでも軽減するためには、子供たちの実態把握、不安や戸惑いの解消、小中学校の教員の交流や事業内容のすり合わせなどが重要になると

考える。このようなことから、当分の間、現行のALTI1人体制の良い面を生かし、派遣方法の工夫、改善に努めながら、小学校、中学校の英語教育の充実に努めてまいりたいと考えている。一方で、御指摘のように、ALTIを増員すること、ネイティブに触れる機会や量を増やすことの効果、成果も期待できるかと思う。事実、取り組んでいる自治体もあるように聞いている。今後、ALTI複数体制の必要性が生じるような場合は、県内の他市町村の状況、JETプログラム事業との兼ね合い、教育活動の見直し、財政面の検討など、あらゆる面から総合的に検討したいと考えている。本町教育委員会としては、英語教育の向上のために、教職員の指導力の向上を図り、わかる授業の推進に努めたいと考えている。

通院に必要な指定難病患者の旅費の助成について

質要

誰もが健康で長生きしたいと思

うのは当たり前のことだが、人間として生まれてきた以上、避けて通れないのが生老病死である。自分だけはそんなことはないと思っただけでも、病は突然やってくる。軽病、重病それぞれ違いますが、重病でも検診によって早期発見すれば完治することもある。治療方法すらわからない、特効薬もないような難病は、本人も家族も大変な思いで病気に立ち向かっていかなければならない。地元の病院で紹介状をもらい、奄美や鹿児島病院に行っても救急以外はすぐに診察をしてもらえず、検査日を指定され、すぐに治療してもらえないことはない。検査結果によって、専門病院を紹介され、行った来たりする旅費だけでも大変だ。

質問

心身障害児及び身体障害児医療旅費扶助と同じように、指定難病と診断された患者への旅費の助成はできないものか。町長の見解を伺う。

答弁 保健福祉課長

難病は333疾病が指定されており、各都道府県に難病相談支援センターが設置され、国による医療費の助成がされている。名瀬保健所からの情報では、本町における成人の指定難病認定者数は40名で、島内の医療機関に通院されている方が9名、島外の通院者が3名、島内島外両方への通院者が28名となっている。18歳以下の小児慢性特定疾患の認定者数は11名で、これに対しては本町の心身障害児等療育旅費助成事業により、対象児童、保護者1名に対し、船舶で名瀬及び鹿児島までの実費相当額が年12回助成されている。指定難病の申請窓口及び管理は地域を管轄する保健所となっていることなどから、患者に対する旅費助成については、県とも連携しながら今後検討をしていきたい。

世界自然遺産登録に向けた観光の取り組みについて

質要

来年度、世界自然遺産に登録さ

れる奄美群島と沖縄県の観光客数の増加が見込まれますが、流れて喜界島でも観光客数は増加すると考える。観光地の整備、清掃は定期的に行われているのか心配だ。友達と帰郷した方の話で、車で喜界島観光をした際、百之台公園に行っても草だらけで、手久津久の巨大ガジュマルも草で中に入って行けなくて、せっかく友人を連れて楽しみにしていたのに残念だったという話があった。6月、7月は雨が多く、道路も畑も草だらけだ。

質問

観光地の整備、清掃は年に何回ぐらい行われているのか伺う。

答弁 企画観光課長

町内の公園や展望所など、16カ所を3地区に分けて、それぞれ委託をし定期的に草刈りなどの整備をしている。トイレの清掃は毎日行っている。手久津久ガジュマルは、企画観光課で随時行っている。シルバー人材センターに委託をすることもあるが、人手不足で手が

回らないということもある。百之台は、特別地域についてはきれいに清掃してある。関係部署と連携をしながらやっていきたい。

【質問】

最近、観光バスをよく見かける。観光目的での来島者数が掌握できているか伺う

【回答】 企画観光課長

観光客のみというのでは、把握はできていない。喜界町の入込客数は、ここ5年間徐々に伸びており、平成26年が5万2,674名、平成30年が年6万418人で、7,744名増えている。純粋な観光客のみというところでは、今後の課題で各ホテルにアンケートを行うといった対応が必要ではないかと課内で検討している。

【質問】

世界自然遺産登録後に観光客が増えると考え、どの程度増えるか、見解を伺う

【回答】 企画観光課長

実質的には計算できていないが、平成30年は6万418人。観光振興計画の中で、令和3年度の目標を6万5,000人としている。新たな航空機ATR機での搭乗率をクリアして達成できる数字で設定している。



議会のうごき(10月～12月)

- 10月16日 …… 離島町村議会議長行政調査 (鹿児島市)
- 10月23日 …… 全国離島振興市町村議会議長会理事会 (東京都)
- 10月24日 …… 鹿児島県戦没者追悼式 (鹿児島市)
- 11月12日 …… 全国離島議長大会 (東京都)
- 11月25日 …… 所管事務調査 (東京都内)
- 12月初旬 …… 令和元年第4回定例会 開会 議案上程・一般質問
- 12月中旬 …… 令和元年第4回定例会 最終本会議 (委員長報告他)

【ご案内】 次の議会は、12月上旬を予定しています。

午前9時30分 開会 皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の様子をインターネット中継でご覧いただけます。

(動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。)

お問合せ 喜界町議会事務局 電話 65-1115

◆ 議決条例・陳情書の報告 ◆ (議長は裁決に含まず。)

議案	内容	賛成	反対	採決
議案第 42 号	喜界町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	11	0	可決
議案第 43 号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について	11	0	可決
議案第 44 号	喜界町避難行動要支援者名簿に関する条例の制定について	11	0	可決
議案第 45 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の一部変更について	11	0	可決
議案第 46 号	喜界町立幼稚園保育料徴収条例を廃止する条例について	11	0	可決
議案第 47 号	消費税及び地方消費税の税率改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	11	0	可決
議案第 48 号	喜界町森林環境譲与税基金条例の制定について	11	0	可決
議案第 49 号	喜界町公共下水道事業基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例について	11	0	可決
議案第 50 号	喜界町農業集落排水事業基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例について	11	0	可決
議案第 51 号	喜界町水道事業の設置等に関する条例の制定について	11	0	可決
議案第 52 号	喜界町給水条例の制定について	11	0	可決
議案第 53 号	喜界町水道事業運営審議会条例の制定について	11	0	可決
議案第 54 号	喜界町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について	11	0	可決
議案第 55 号	喜界町簡易水道施設分担金徴収条例等を廃止する条例について	11	0	可決
議案第 56 号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	11	0	可決
議案第 57 号	喜界町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	11	0	可決
議案第 58 号	令和元年第 1 回電算用関連機器共同調達の商品売買契約の締結について	11	0	可決
議案第 59 号	令和元年度防災関連施設改修工事の工事請負契約の締結について	11	0	可決
陳情第 8 号	新たな過疎対策法の制定に関する議会意見書の提出について	11	0	採択
陳情第 9 号	のぞみ幼稚園へのエアコン設置について	11	0	採択
発議第 1 号	水産業の体質強化を求める意見書	11	0	採択
発議第 2 号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書	11	0	採択
発委第 2 号	新たな過疎対策法の制定に関する議会意見書の提出について	11	0	採択

諸般の報告

議長 外内千里

7月10日 大島支庁奄美会館

県教育庁高校教育課主催

「令和2年度公立高等学校生徒募集定員策定等に係る地区説明会」

大島学区（奄美大島・喜界島）を対象としたもので、中学校長、PTA会長、高校校長、同窓会長、各市町村長、議長出席

主な内容は、平成31年度募集定員策定の流れで前年度より180名減少し、徳之島高校他3校で各1学級減となっております。令和2年度は進路希望状況調査の後、公表10月上旬に募集定員を発表するスケジュールとなっております。質疑では今後の農業学科のあり方、普通科のあり方、方向性についての質疑に、今後の国の教育改革の方向性の審議過程により検討されるとの答弁でした。

7月11日 鹿児島市

市町村議会正副議長研修会

演題「当面する諸課題について」

講師…鹿児島県総務部市町村課

加治博孝課長

演題…「住民に期待される議会」

講師…熊本市政策参与 中村 健氏

7月18日～19日 東京

全国町村議員会館で離島議長会 総会

役員改選において10名の理事と3名の監事が選出、私も理事参画。新たな役員体制については理事の互選で、会長に島根県西ノ島議長、副会長に新潟県佐渡市議長、福岡県新宮町（しんぐうまち）議長を選出してあります。令和2年度の離島振興に関する要望書について検討し、10月開催予定の第38回離島振興市町村議会議長全国大会に提出することになりました。

7月23日 奄美市

奄美群島さとうきび価格対策協議会

第46回定期総会

平成30年度事業報告では台風被害で、「さとうきび増産基金」が発動

7月30日 東京都

参議院議員会館

「令和元年度防衛省全国情報施設協議会」

「防衛省情報施設振興議員連盟」の議員立法により「基地交付金に関する法律の一部改正」が成立し、平成17年度より本町も毎年1,400万円ほどの交付金を受けております。

演題…「リーダーサイトの重要性和我が国の安全保障政策」

講師…宇都参議院議員

8月8日 鹿児島市

市町村政研修会 喜界町議会議員全員

8月9日 鹿児島市

令和元年鹿児島県後期高齢者医療広域連合議会 第1回臨時会

喜界島だからできたこと

筆者 岩下 雅大

2017年11月23日埼玉スーパーアリーナ。この日、私自身、ずっと追い求めてきた夢に終止符を打った。日本で出来る事はここまで。海外へ行けばまだまだ強くなる自信はあったが、このヘビー級という階級で日本でやっていくのに限界がある。海外で2m近い中で当たり前に練習できる環境。ずっと、自分は一番強い。そう思ってきたが、この「答え」がわかり、自分自身、胸がスーとした。ヘビー級で世界を目指すとはこういうこと。

憧れのK-1のリング。喜界島でK-1をTVで見えて育った私は、いつかこのリングに立つてつかい外国人たちを倒して世界一のチャンピオンになる。そう思い、すごしてきた。中学は野球、高校も野球。大学時代について憧れの格闘技ジムの門をたたいた。当時188cm75kgだった私はヘビー級への憧れが強く、増量しながら格闘技に打ち込んだ。練習すればするほどやせていく体。その中で、通常105kgまであげたのはトレーニング漬けの中で、1日5食など食部分でも努力が必要であった。その中で自分の体質、食の知識など向き合えたのは今思えば大きな収穫だった。

前置きはさておき、トレーニングする中で「喜界島育ち」に感謝することが多々あった。何よりも、体の頑丈さ。DNA検査の際、数値にも現れたが、自身で感じたのは、第二に怪我をしないという事。小さいころから潜ったり、畑仕事を手伝ったり。具体的に言うと、フィジカル面は最高に頑丈だった。骨も何度も何度も折ったが、2週間すれば通常の練習を再開できるほど治りが早かった。他にも心肺機能、足腰。4年間務めた救助隊時代、潜水訓練があり、素潜りで潜る事があったが、新入りの私が一番潜れていた。クロスフィットという総合的なトレーニングがあるが、それ

ぞれ違う競技のアスリートの中で一緒にやっている際も、自分がベストタイムをだせることが多々あった。

そんな中で私が思うのは、島育ち。この環境で育ったからこそフィジカル面で群を抜いていたんだと思う。だからこそ、島の皆様に声を大にして言いたいのは、この環境をプラスにとり、自信をもって世界へ挑戦して欲しいという事。

遊びながら、勝手に身につく環境。こんな環境は都会にはありません。これを武器として、これからも島の皆さんにはどんどん挑戦して欲しいと思う。

ただ、問題はメンタル。競争になれていない島の環境でのメンタル面をどう克服するか？

スポーツ選手はフィジカルは横並び。その中でどうアピールして、それぞれの競争に勝つか？

詳しく聞きたければ、また私に相談してくださいね。

幼いころからさとうきび農家の長男としての環境で、日本の中心で、世界と渡り合えたのは、まぎれもなくこの「喜界島」で育ったから。

だからこそ、改めて皆さんに言いたい。

喜界島は最高です。

余談ですが、喜界島の皆さんからも応援頂いたあの11月23日。試合前の入場リハーサル中に感極まっ

て泣いてしまった私。これも喜界島ドリームを目の当たりにし、「喜界島育ち」ならではの事でした。



編集後記

10月から始まっている消費税増税や、幼保無償化。キャッシュレスに向けてのポイント還元などが実行されている。保育料無償化の国の予算として7,764億円を見込んでいる。消費税2%増税で見込まれる増収は5兆6,000億円。増えた増収の15%弱が保育料無償化に充てられる。

新たな事業や、時代の変化が急速に押し寄せてくる。人口減少が進む中で、本町も数十年後は約5,000人になると想定される。止めるのは困難である。緩やかな減少にはできるのではないかと。島民全体で知恵を出し将来の喜界島を考えなければならぬ。国内外問わず、外国の方も来てもらえる観光の準備や、島に住みたくなる施策を考えなければならぬ。

ここ数年奄美への観光も大きく変わってきた。今後、世界遺産に登録されれば、奄美の良さがわかる人達との交流は益々増えてくる。喜界島の伝統や文化を残しつつ、島の良さを最大限に発信して、一人でも多くの人達に島の魅力を知ってもらいたい。

- 文責 峰山 恵喜光
- 喜界町議会広報委員会
- 委員長 生駒 弘
 - 副委員長 河上 弘仁
 - 委員 良岡 理一郎
 - 委員 野間 弘也
 - 委員 峰山 恵喜光
 - 委員 榮 優太